

# 3

## コーディネーターの 業務内容



# プチ特集

## 1年目が語る コーディネーターとは

—地域のみなさまに愛される存在を目指して—

私は令和6年度に、コーディネーター担当として入職いたしました。入職当初は、自転車の運転も電話対応もままならず、コーディネーターって何するのだろう？と、未知の世界のように感じておりました。

そんな私が、少しずつ慣れてきた今、コーディネーターとは、地域のみなさまや各関係機関のみなさまありきの存在だと感じております。相談を受けたときに、つなぎ先として真剣に耳を傾けてくださる方、「これできるよ！」「これやりたい！」と声をかけてくださる方。私の不安を受け止めてくださった方。事例として取り上げた寿一ほつとラインのように、感動を教えてくださいくださる方。本当にみなさまがいなければ成り立たない職だと感じました。

そんなみなさまにとって、少しでも意味のある職員でありたいと思っています。未熟者ですが、笑顔満点で地域に出ますので、これからもよろしく願いいたします！





出演：田島 麻美・戸矢 理恵子・横山 敏子

# 台東社協ミニシアター



「それいけ! 田島さん～コーディネーター1年目の奮闘記～」



## 地域への訪問

「一見楽しそうに見えますが、きちんと目的をもって出かけています。」

## 地域住民との出会い

「ロスフラワー? なるほど、そういう想いで地域で活動されているんだ!」

## 上司や係内への報告

「どんなに忙しくても、嫌な顔せず聞いてくれるので安心です!」



## 地域の交流の場に参加

「最近の地域はいかがですか? 教えてください!」

## 電話や来所者対応

「どこに相談しているのか、困ってしまった方からの相談です。」

## 記録の入力

「自分自身の行動を振り返るためにも記録はとても大切です。」



# 1 個別支援

たとえば…

「どこに相談したらいいのかわからない」  
「近所に気になる人がいる」など



『聞く』

福祉に関する個別の相談を受けています。

## 今年度、コーディネーターが受けた個別相談の特徴

どこに相談したら  
いいかわからない



ひとり暮らしで、今後の  
生活が不安…



終い支度が気に  
なっている



高齢者とこども

問題が多くて  
どこから手を  
付けたい  
かわからない



不登校、ひきこもり…



食料が欲しい・困窮気味



外国にルーツのある方  
に関する相談

令和6年度は、下記内容の相談が多く寄せられました。

- ・終活    ・身寄り無し独居（年齢問わず40代～80代まで）
- ・一人暮らし、今後のこと（入院時、鍵、支援、契約等）
- ・8050：社会とのつながりの薄い高齢者とこども世帯
- ・フードパントリー、フードバンクについて聞きたい（食料が欲しい）

※詳細につきましては、TAITO スタイル後半の「データと新規相談の内容」編もご覧ください。

## 2 地域支援

たとえば…

「地域の課題解決に貢献したい」

「居場所を作りたい」など



### 『聞く』

「地域のために何かやってみたい」「住民同士の支え合い活動をしたい」など、住民が主体となる活動の相談を受けています。

コーディネーターが受けた「地域で何かやりたい！」という相談(一部抜粋)



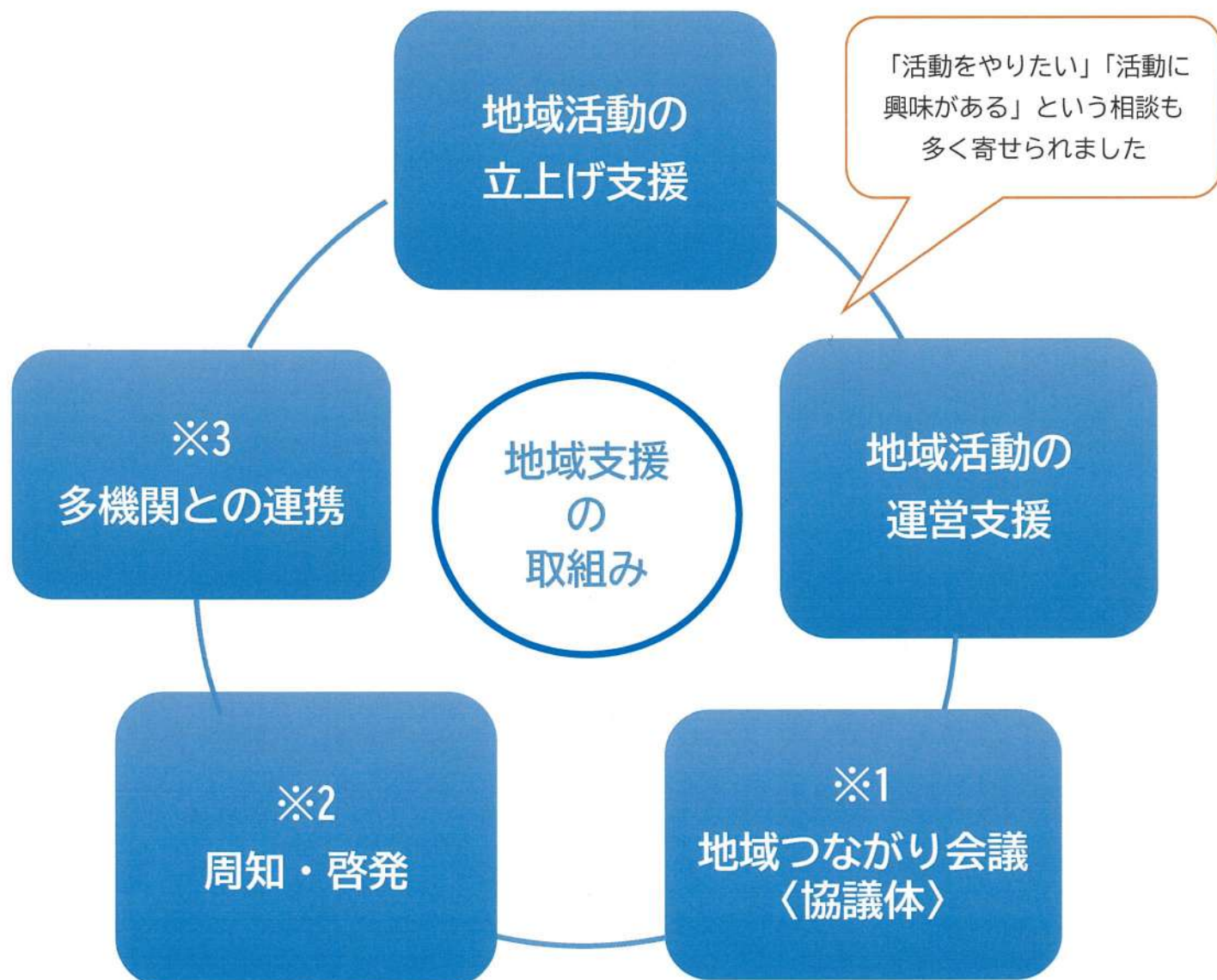
みんなでご飯を食べる会をやってみたい！



高齢者が集まる場所を作りたい！



こどもの居場所を作りたい！





## ※1 地域つながり会議＜協議体＞

### 地域つながり会議（協議体）とは

地域つながり会議は、住民を交えて地域で気になっている課題について自由に話し合う会議の場です。住民だけではなく、専門職や関係機関も参加し、地域の課題把握から解決に向けてアイデアを出す話し合いの場となっています。地域の課題は重層的で複雑なケースも多いので、まずは情報の整理を中心に意見交換の会議を進めています。生活支援体制整備事業における協議体として位置付けています。

### 令和6年度に実施した地域つながり会議の主なテーマ

- ◆家族会の今後の運営や方針について考える
- ◆地域課題を通じて社会的処方を考える
- ◆活動の立上げについて話し合う
- ◆今までの活動を振り返る
- ◆お互いのニーズや課題を知りイベント開催に向けて意見交換する
- ◆今までの活動の振り返りと今後の活動の在り方について意見交換する
- ◆お互いを知り今後の活動の立上げについて意見交換する

等



令和6年度は、地域場のづくりや活動の運営を中心としたテーマについて、地域のみなさんや関係機関職員、区役所職員などと、より良い活動に向けて話し合いの場をつくりました。

## ※2 周知・啓発

### (1) 周知・発信方法

コーディネーター担当の事業説明を行うことを目的にチラシを作成し、台東区社会福祉協議会の事業案内とともに配布しております。また、社協職員に向け毎月コーディネーター通信を発行しています。

**福祉に関する相談**

だれに相談したらよいかわからない。

地域でやりたいことがある。

近所で気になる人がいる…。

地域のためにやってみたいことがある。

※年齢や対象は問いません。どなたでもご相談ください。

8:30~17:15 (土日祝除く)

**地域福祉コーディネーター**

にお話してみませんか。

【お問合せ】  
社会福祉法人 台東区社会福祉協議会  
コーディネーター担当  
台東区下谷1-2-11  
☎ 03(5828)7556

たいとうしゃきょう 検索

地域福祉コーディネーター チラシ

**コーディネーター報告書 令和6年度3月分活動実績**

◆地域支援-その他コーディネーターの動き(写真集) ※一部抜粋しています

①【海浜地区】富士の麓で特選！

②【全協】はつばい地区社会福祉協議会

③ 遠隔地によるコンサル

④ 遠隔地によるコンサル

⑤ CSWにてCSW 活動打ち合わせ

⑥【地域外】福祉ブロック連絡会

1. 民生委員の方を中心とし、地域のひとと一緒に研修・勉強会を行っています！  
2. CSW の活動支援を実施している 5 団体の報告会が付けられました！  
3. 武蔵野大学の遠隔地・地域福祉コーディネーター・専攻アドバイザーを招聘しての研修会！  
4. CSW の活動支援活動の打ち合わせ中、今後は年度別が中心になるか、どうぞお楽しみに！  
5. 文部・文化・スポーツ・福祉の4部の協議で協賛に1回、連絡会を開いています！

コーディネーター通信 (社協内向け)

よりよい社会、よりよい協会を創出して、できること少しづつ。

**たいとう社協 秋**

社会福祉法人 台東区社会福祉協議会

No.126 地域の身近な応援団！

【お問合せ】 台東区社会福祉協議会  
【コーディネーター報告】  
【地域外】福祉ブロック連絡会

わたしたちが「地区担当」です！  
気軽に声をかけてください！

Instagram  
はじまりました!!

社協だより 令和6年度 秋号 (No.126)



## (2) 講師派遣による啓発等

講習会や研修等における講師派遣等の依頼があり、コーディネーター担当の事業説明やテーマに沿った事例紹介等を行いました。

- ◆ 金杉地区民児協勉強会
- ◆ 社協内研修
- ◆ 台東区民生委員・児童委員協議会災害時支援委員会
- ◆ 東社協新任職員研修講師
- ◆ 地域包括支援センター実習生説明会
- ◆ アートと医療福祉勉強会
- ◆ 富山上市高校への説明
- ◆ 地域支援共有会
- ◆ 多職種連携部会ケアマネ向け研修
- ◆ 東京都美術館とびうアクセス実践講座
- ◆ 社会教育館シニア学び合いサロン講話
- ◆ ひきこもり講演会

### 講演会 私が、うちの子が、ほっとできる ～台東区のさまざまな“居場所”～

台東区社会福祉協議会や公益社団法人青少年健康センター茗荷谷クラブの取り組みを中心に、ひきこもり等生きづらさを抱える方が利用できる“居場所”についてお話をうかがえます。



講師

小玉 周平 氏



(台東区社会福祉協議会 地域福祉コーディネーター)  
2019年に台東区社会福祉協議会に入職。生活福祉資金等の貸付業務を担当後、現在は地域福祉コーディネーターとして、生きづらさを抱えた方等の個別相談や住民が主体となる活動の立ち上げ支援等、福祉に関する幅広い相談支援を行っている。  
今後は、企業や団体等と連携し、短時間就労や就労体験の場づくりに力を注いでいく。

令和7年3月1日(土) 10:00～12:00開催

台東区役所 10階会議室(台東区東上野4-5-6) ※定員50名



## (3) 地域の方や会合等における普及

地域住民が集まる場や住民活動、行政や企業等が開催するイベント等へ訪問した際、コーディネーター担当の事業説明を行い、地域への周知を行いました。

### 【主な訪問先】

- 民生委員・主任児童委員協議会（全体会・地区民児協・部会等）
- ふれあいサロン
- 通いの場
- 町会活動
- 区主催事業
- 自主グループの活動
- 商店街イベント
- 社会教育館
- 地域包括支援センター認知症カフェ
- 老人福祉センター 等



## ※3 多機関との連携

コーディネーターは、地域の課題解決に向けて、地域住民はもちろん社協の他部署・行政・関係機関・団体・企業等と連携して活動しています。ここでは、今年度それらと連携して取り組んだ主な活動や出席した会議体についてご紹介します。

### (1) 東京藝術大学や東京都美術館等のアート分野との取組み

# ART 共創拠点

Arts-Based Communication Platform  
for Co-creation to Build a Convivial Society

東京藝術大学が中核となり 41 機関が連携した「共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点」通称：ART 共創拠点は、福祉・医療・テクノロジーを融合したアートコミュニケーションによって、誰もが「自分らしく」を実現できる共生社会を目指します。当プロジェクトにコーディネーター担当も参画し、福祉分野の視点からミーティングやワークショップに参加しています。

### (2) 今年度参加した主な会議

- 生活支援体制整備事業定例会議
- 地域ケア個別会議
- 地域包括支援センター連絡会
- 高齢者見守りネットワーク連絡会
- 自立支援・介護予防に向けた地域ケア個別会議
- 城北ブロック地域福祉担当者連絡会
- 台東区チームミーティング
- 等

### (3) アドバイザーとの連携

令和4年度よりコーディネーター担当の事業のブランディングアドバイザーの合同会社 Grip Grap と月1回打合せを行い、コーディネーターの「見せ方」等についてアドバイスを受けています。また、武蔵野大学教授 渡辺裕一氏より不定期にコーディネーターの事業全般や地域支援に関するアドバイスを受けています。





### 3. 地域の把握



『聞く』

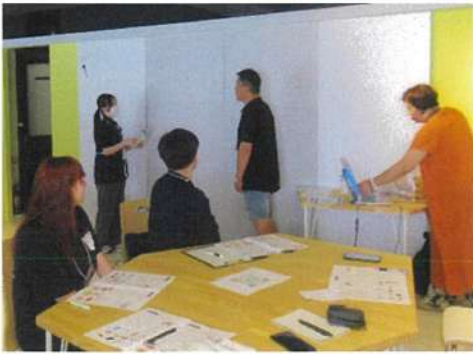
地域情報の収集や地域課題の把握をするために、住民の集まりや交流の場に顔を出し、皆さんの声を聴いています。

たとえば…

「私たちの地域にはこんな歴史や背景があるのよ」  
「私の地域ではこんな活動をやっている」など

#### コーディネーターの地域訪問記

コーディネーターは積極的に地域や場に出向き、地域にある社会資源や福祉的な課題の発見に努めています。ここでは、そんな地域との関わりを写真でご紹介します。



住民の交流の場、住民主体の体操、住民活動の話し合い、銭湯を活用した活動の場、関係機関主催の催し 等々…

コーディネーターは地域のいろいろな活動や場を訪問し、住民の皆さんから地域のお話を聞くことができました。



## 4. 地域はっぴい助成金制度 (一定の要件があります)

### 00 制度誕生までの背景

コーディネーター担当部署が設立後、年を追うごとに「地域の課題解決のために活動したい」「地域のために何かしたい」という相談が増加していきました。ただし、活動するには会場費や運営費が必要であり、コーディネーターは多くの相談者から活動を始めると躊躇する声を耳にしました。お試し活動へのチャレンジ、活動の

きっかけづくりの助成金の重要性を感じ、令和4年度に地域はっぴい助成金制度が誕生しました。

### 01 目的

皆さんがお住まいの 地域にある課題解決 を目的とした、町会・自治会・ボランティアグループ等の住民団体等が行う活動の一部を助成する制度。

### 02 主な要件

- ① 当助成金制度の利用前に社協コーディネーターに事前相談している団体等
- ② 区内の活動であり、区民が主体的に地域の福祉課題の解決に取り組む団体等
- ③ 3名以上（うち、区民が半数以上）の団体等
- ④ 社協や台東区等が行う同種の助成金を受けていない、または活用できる制度がない団体等
- ⑤ 社協コーディネーターが設定する “地域つながり会議”に参加することができる団体等
- ⑥ 地域内の同種の活動と重複しない団体等

※趣味の教室や習い事のような活動とは異なります。

【対象にならない団体等】

×助成対象の活動が、政治・宗教活動・営利を目的をしている団体等

### 03 助成金額

| 助成金  | 対象                           | 上限         | 対象経費                       | 助成期間                                                     |
|------|------------------------------|------------|----------------------------|----------------------------------------------------------|
| 運営   | 地域の福祉課題解決のための新規活動を行う団体等      | <u>5万円</u> | 印刷製本費 保険料<br>消耗品費 会場費<br>等 | 助成交付決定日からその日の属する年度の末日(3/31)<br><u>※更新の上限は初回年度から3年目まで</u> |
| 備品購入 | 当助成金を活用し、1回以上イベント等の活動を行った団体等 | <u>5万円</u> | 備品購入費<br>(例)マイク、机等         | 上記「運営」助成の助成期間内で <u>申請は1回のみ</u>                           |



## 04 助成団体一覧

| 名前       | 内容                                              | 開催頻度  |
|----------|-------------------------------------------------|-------|
| 上野つながルーム | 「孤立防止」のために、地域のつながり作りや交流の場を提供                    | 月1回   |
| ぼっちの会    | 浅草橋地区の高齢者の孤立・孤独を対象にした交流会                        | 月1回   |
| 寿一ほっとライン | 「孤立防止」を地域の課題とし、向こう3軒両隣の精神で行う地域のつながりづくり          | 月1回   |
| アンダンテ    | 音楽を用いた、公的なサービスにつながりやすい高齢者の場                     | 不定期開催 |
| 清川つながり会  | 日本や外国につながる子どもたちがのびのびと遊べ、その保護者が抱える悩みなどにも対応できる居場所 | 毎週    |

## 05 活動写真



※地域はっぴい助成金制度には、一定の要件があります。詳細はコーディネーター担当までお問い合わせください。